

第10期 事業報告

2018年9月1日～2019年8月31日

公益社団法人
日本サードセクター経営者協会

I 基本方針

1. 事業に関する方針

政府・行政(第一セクター)や企業(第二セクター)に比べて力量が乏しく分断されていたサードセクター組織が連携・協力し社会的存在感が小さかった日本のサードセクターの形成を目指します。ビジョンと活力あふれるサードセクターが加わることで、三つのセクターがそれぞれ適切な役割を果たす多元的な社会の実現することを目指します。設立時の理念の確かさを自覚し、下記に焦点を当て、事業を展開していきます。

- ・ 経営者の孤軍奮闘状況とセクター内部の縦割り構造の解消
- ・ 個々の非営利組織に求められている、自律的で成果を追求した経営力の向上
- ・ 公共サービス改革へのセクターとしての方針の表明と対応

サードセクター組織経営者の能力開発事業

(つなぐ事業)

地域や社会の課題を解決すべく、テーマ別やiSB公共未来塾の修了生が集まり、部会活動として、経験を交流し、より社会のニーズに合ったサービスの提供ができるように支援を行った。

サードセクター組織の自立的・効率的経営に向けた支援事業

(伸ばす事業)

サードセクター組織の自立的・効率的経営に向けた支援において重要なことは人材養成です。iSB公共未来塾を積極的に開催し、ツリー型ロジック・モデル・シートの作成支援を行い、社会性重視の経営ができるような経営者の発掘、育成に努めました。また、サードセクター組織の経営を理解した起業支援や経営支援が求められています。サードセクター組織へのコンサルティングとサードセクター組織へのコンサルティングができる人材養成を行いました。特にツリー型ロジック・モデル・シートの作成支援ができる人材養成のために今期は、コンサルタント養成講座を2回開催しました。2016年の熊本地震、2019年の佐賀集中豪雨の被災地において、被災者を支援するサードセクター組織への支援を行いました。熊本においては特定非営利活動法人くまもと未来ネットと連携・協力し、継続して支援を行っています。

サードセクターの在り方に関する調査・研究と提言事業

(提言する事業)

サードセクターを構成する各種非営利法人や協同組合あるいは社会的企業等の実像（実数、財政規模、従事者数 等）および経営者の実態を把握し、サードセクター確立に向けた状況を把握していくために、独立行政法人経済産業研究所「日本におけるサードセクターの全体像とその経営実態に関する調査研究」研究会のプロジェクトリーダーを代表の後房雄が務め、6年間にわたる調査の結果を集計、分析しました。

また、主権者としての市民が地域や社会をよくする活動を実践するためには、地域内分権の仕組みを確立させることが重要であると考え、全国の好事例を視察調査いたしました。

2. 運営に関する方針

法人2期から法人6期まで大きなプロジェクトとして、東北の復興起業家をはじめ、サードセクター組織起業支援を行ってきました。法人7期、8期、9期、10期はそれらリーダーに継続的に寄り添い支援を行ってきました。全国各地のサードセクター組織の経営者と連携をとり、協力を頂きながら、iSB公共未来塾やコンサルティングを行い、サードセクター組織が活力ある活動ができるように支援をしてきました。

II 事業報告

1. サードセクター組織経営者の能力開発事業

1) 部会活動

先輩サードセクター組織の経営者や iSB 公共未来塾の卒業生をゲストに招いてお話を聞いたり、互いの経験を交流したり、助け合ったりしました。

●日時：2018年9月8日（木）10時～13時

参加者：9名

場所：パシオン TOKYO

内容：もみやまゆき「カフェミカン」iSB 公共未来塾 in 吉川卒業生
自分らしく無理なく起業されたもみやまゆきさんのお話を聞き、起業家同士が意見交換しました。

●日時：2018年10月19日（金）10時～13時

参加者：9名

場所：パシオン TOKYO

内容：月森沙奈さん「株式会社 Layer Box」iSB 公共未来塾 in 世田谷卒業生
奈良とベトナムをつなぐ活動をしてみえる月森さんから起業の動機、どのような困難があり、どのように乗り越えてきたのかお話しをおききし、参加者同士で意見交換しました。

●日時：2019年8月22日（木）10時～13時

参加者：6名

場所：パシオン TOKYO

内容：石山恭子さん「特定非営利活動法人子育て支援グループ amigo」
iSB 公共未来塾 in 世田谷
網島ちひろさん「一般社団法人 BTmama」
iSB 公共未来塾 in 大田

ゲストはともに iSB 公共未来塾の卒業生で子育て支援の活動をみえます。子育て分野の起業家が互いに意見交換しました。

●ステージアップカフェ

Jacevo の会員や、iSB 公共未来塾の卒業生などが集まり、日常の悩みを少人数で互いに相談したり、意見交換したりする機会をつくりました。1回の参加者は2名から3名と少人数で気軽に話ができる環境をつくりました。

場所：パシオン TOKYO

日時：2018年9月22日（水）15:00～16:00

参加者：3名

場所：パシオン TOKYO

内容：ステージアップカフェ TOKYO

起業を目指しているが、何から手を付けていいかわからない。アイデアがあるが、うまくプランに落とし込めない。地域や、社会問題を解決するビ

ジネスがしたいなど、起業に向けた悩みを互いに話し合いました。次期は定期的に開催したいと考えます。

2)年次大会

今期は年次大会を開催しませんでした。

今後地域運営組織の活動が期待されることから、次年度開催のために好事例の調査など準備を行いました。

2. サードセクター組織の自立的・効率的経営に向けた 支援事業

1)地域社会雇用創造事業

社会性重視の経営を行う起業家の支援のために、ツリー型ロジック・モデル・シートとビジネス・モデル・シートを活用し、起業塾を開催しました。

※ツリー型ロジックモデル…社会的インパクト評価のツールとして注目されているロジックモデルのひとつで目標達成のための PDCA サイクルに関連づけることを重視したロジックモデルです。

<ゼロから始める女性のための起業塾（iSB 公共未来塾）>

① 日時：2018年10月6日(土)、13日(土)、20日(土) 27日(土)

11月10日(土)

10時半～14時半

② 参加者：14名

③ 場所：大田区立男女平等センター

④ 講師：風間英美子（有限会社キュベル代表）

白川愛（株式会社 ZubitsJapan 代表取締役）

坂田静香（特定非営利活動法人男女共同参画おおた理事長）

東宮勝彦（共立信用組合融資部審査課次長）

藤岡喜美子（公益社団法人日本サードセクター経営者協会）

⑤ 内容：

・夢をカタチにビジョンを描こう

- ・事例から学ぶ私の起業体験談
- ・事業コンセプトを考えよう
- ・会計の基礎知識を学ぼう
- ・マーケティングの基礎を学ぼう
- ・営業・販売戦略を考えよう
- ・ビジネスモデルとは
- ・ビジネスモデルを考えよう
- ・広報戦略をたてよう
- ・心を動かすプレゼンテーションを試みよう
- ・ビジネスプランの発表

受講生の想い（ビジョン）を具体的に言葉にすることを支援し、ビジョン達成のために魅力ある事業を考え、ビジネスプランを作る5回連続の起業塾です。少人数で演習の機会を多くし、論理的に考える力を養っています。参加費は5回で5000円、託児は無料で行いました。

<スタートアップ起業塾（iSB 公共未来塾）>

- ① 日時：2018年10月11日（木）、18日（木）、23日（火）、25日（木）
11月10日（土）

10時半～14時半

- ② 参加者：5名
- ③ 場所：biz BEACH CoWorking
- ④ 講師：風間英美子（有限会社キュベル代表）
岡 智子（コミュニケーションインストラクター）
川端慎之介（株式会社 Torch. company 代表取締役）
坂田静香（特定非営利活動法人男女共同参画おおた理事長）
藤岡喜美子（公益社団法人日本サードセクター経営者協会）

- ⑤ 内容：
- ・夢をカタチにビジョンを描こう
 - ・事例から学ぶ、私の起業体験
 - ・マーケティングの基礎を学ぼう
 - ・営業・販売戦略を考えよう

- ・会計の基礎知識を学ぼう
- ・事業コンセプトを考えよう、ビジョンと事業コンセプトをつなごう
- ・ビジネスモデルとは
- ・ビジネスモデルを考えよう
- ・広報戦略をたてよう
- ・ビジネスプランの発表

参加者は少ないですが、セミナー終了後もフォローアップを行い、減災・防災の啓発活動、災害時の携帯トイレの製造販売をされる方、コミュニティレストランを始められる方など2名のかたがソーシャルビジネスを起業されました。

<ゼロから始める女性のための起業塾（iSB 公共未来塾）>

⑥ 日時：2018年10月31日(水)、11月5日(月)、26日(月) 12月10日(月)
9時半～15時、10月31日のみ9時半～11時半

⑦ 参加者：22名

⑧ 場所：世田谷区民会館別館

⑨ 講師：風間英美子（有限会社キュベル代表）

岡 智子（コミュニケーションインストラクター）

界外亜由美（mugichokolato 株式会社代表取締役）

坂田静香（特定非営利活動法人男女共同参画おおた理事長）

藤岡喜美子（公益社団法人日本サードセクター経営者協会）

⑩ 内容：

- ・夢をカタチにビジョンを描こう
- ・事例から学ぶ、私の起業体験
- ・マーケティングの基礎を学ぼう
- ・営業・販売戦略を考えよう
- ・会計の基礎知識を学ぼう
- ・事業コンセプトを考えよう、ビジョンと事業コンセプトをつなごう
- ・ビジネスモデルとは
- ・ビジネスモデルを考えよう
- ・広報戦略をたてよう

- ・心を動かすプレゼンテーションをしてみよう
- ・ビジネスプランの発表

社会的価値と経済的価値を創出することができる経営について、ツリー型ロジック・モデル・シートとビジネス・モデル・シートを活用してビジネスプランをつくりました。女性を対象とし、グループワークの機会を多くしたことで、受講生同士のコミュニティができ、受講生はそれぞれのペースで起業の準備を始めました。

<ゼロから始める女性のための起業塾（iSB 公共未来塾）>

- ① 日時：2019年3月5日（火）、8日（金）、13日（水）、15日（金）、19日（火）
- ② 参加者5名
- ③ 場所：共立信用組合蒲田支店
- ④ 講師：小西由美枝（株式会社プリメックスキッズ）
風間英美子（有限会社キュベル代表）
坂田静香（特定非営利活動法人男女共同参画おおた）
砂押ちひろ（砂押税理士事務所代表税理士）
藤岡喜美子（公益社団法人日本サードセクター経営者協会）
- ⑤ 内容：

カリキュラム

- ・自分の想いを言葉にしてみよう
- ・起業家から学ぼう
- ・広報戦略を学ぼう、心を動かすプレゼンテーション
- ・事業アイデアをだそう
- ・ビジネスモデルを考えよう 1、II
- ・マーケティングの基礎知識
- ・営業販売戦略
- ・会計の基礎を知ろう
- ・ビジネスプランの発表、ブラッシュアップ

共立信用組合の会議室をお借りし、連携・協力して起業塾を開催しました。コミュニティビジネスの誕生が期待されます。

<ゼロから始める女性のための起業塾（iSB 公共未来塾）>

① 日時：2019年6月15日（土）29日（土）7月13日（土）、7月27日（土）

② 参加者10名

③ 場所：清瀬市男女共同参画センターアイレック

④ 講師：原なつき（アロマエステサロンルナルーム）

風間英美子（有限会社キュベル代表）

界外亜由美（mugichokolato 株式会社代表取締役）

砂押ちひろ（砂押税理士事務所代表税理士）

藤岡喜美子（公益社団法人日本サードセクター経営者協会）

⑤内容：

カリキュラム

- ・自分の想いを言葉にしてみよう
- ・起業家から学ぼう
- ・事業アイデアをだそう
(ツリー型ロジック・モデル・シートの意義と作成方法)
- ・会計の基礎知識、収支計画の立て方
- ・マーケティングの基礎知識
- ・営業販売戦略
- ・ビジネスモデルとは
- ・ビジネスモデルをつくろう
(中期戦略と持続可能な収益構造)
- ・広報戦略を学ぼう
- ・ビジネスプランの発表、ブラッシュアップ

清瀬市で、女性の起業などの支援をしている「きよせ de プランニング」と連携して、実施しました。受講生に対しては、フォローアップのコンサルティングを行いました。

<ゼロから始める女性のための起業塾（iSB 公共未来塾）>

① 日時：2019年7月3日（水）10日（水）17日（水）、24日（水）31日（

② 参加者14名

③ 場所：城南信用金庫

④ 講師：山中真奈（シングルズキッズ株式会社）

風間英美子（有限会社キュベル代表）

砂押ちひろ（砂押税理士事務所代表税理士）

池本修吾（公益財団法人ユニバーサル志縁センター専務理事）

藤岡喜美子（公益社団法人日本サードセクター経営者協会）

⑤ 内容：

カリキュラム

- ・自分の想いを言葉にしてみよう
- ・起業家から学ぼう
- ・事業の企画立案
(ツリー型ロジック・モデル・シートの意義と作成方法)
- ・会計の基礎知識、収支計画の立て方
- ・マーケティングの基礎知識
- ・営業販売戦略
- ・ビジネスモデルとは
- ・ビジネスモデルをつくろう
(中期戦略と持続可能な収益構造)
- ・人材養成とチーム力
- ・ビジネスプランの発表、ブラッシュアップ

起業家の体験談はシングルズキッズの山中真奈さんにお願ひしました。クラウドファンズと融資による資金調達の方ズなど、実践的な内容でした。受講生同士のつながりも強くなり、起業塾のあとも繋がりができています。城南信用金庫、日本政策金融公庫との共催で開催しました。

2)フルコストリカバリーセミナー

iSB 公共未来塾や講師に招かれたときに、フルコストの意味とその回収の必要性を啓発しました。

3)セミナーの実施

<子育て・子育て支援で起業する>

日時：2019年3月20日（木）13時～16時

参加者：8名

場所：東京厚生信用組合

内容：2016年2月にこども・子育て支援法の一部が改正され①施設型給付②地域こども子育て支援事業に加え、③仕事子育て両立支援事業という3つ目の事業の柱が立てられました。具体的には企業主導型保育事業と企業主導型ベビーシッター利用者支援事業を行うこととしています。保育園の参入規制が解除されたこともあり、成長ビジネスとして参入業者も増えてきています。そこで、子育て支援分野において社会性重視の経営者の存在が重要であると考え、本セミナーを開催しました。このようなセミナーを通じ、社会的価値と経済的価値を創出していくサードセクター組織のリーダーをみつけ、育成していきます。後半は講師と本協会の会員や参加者が、行政サービスを民間の良さが発揮できるサービスとするための制度の在り方など意見交換を行いました。

講師 横田綾子さん 株式会社コミュニティハウス代表取締役
一般社団法人 日本こども育成協議会会長
小西由美枝 プリメックスキッズ株式会社
藤岡喜美子 公益社団法人日本サードセクター経営者協会

<講師派遣>

世田谷区、清瀬市、熊本県などが開催するサードセクター組織、ソーシャルビジネスなどのセミナーの講師を務めました。

5) コンサルティングの実施

理事、正会員、及び JACEVO 認定コンサルタントによる、フロントラインのサードセクター組織の経営者対し、成果を生み出す組織としての経営コンサルティングを実施しました。主に、東京都、愛知県、熊本県において実施いたしました。

コンサルティング実績：15団体

6) コンサルタント養成講座

日時：2019年2月2日（土）、3日（日）

参加者：4名

場所：パシオン TOKYO

日時：2019年2月9日（土）、10日（日）

参加者：5名

場所：プラザなごや

セミナーを修了され、ツリー型ロジック・モデル・シートを2つ、主席コンサルタントに2回同席され、レポートを提出されるなど資格認定の条件を満たされた方は JACEVO 認定コンサルタントの認定証を交付します。

3. サードセクターの在り方に関する調査研究と提言事業

2) サードセクター形成状況調査

独立行政法人経済産業省が実施する「日本におけるサードセクターの全体像とその経営に関する調査研修」研究会において実施した、過去3回の調査の集計・分析を行いました。サードセクターを構成する各種非営利法人や協同組合あるいは社会的企業の実像（実数、財政規模、従事者数等）および経営者の実態が把握されました。調査結果に関する論文は、独立行政法人経済産業省のHPに公開されています。

サードセクター組織の好事例については、起業塾やセミナーなどで事例を紹介しました。

3) 政府・行政との政策研究会の開催

政府・行政とサードセクター組織経営者により、社会をよくするためにはどのように一体的に関係を変化させていくのがよいのか。特に地域内分権についての議論をしました。香川県三豊市のまちづくり推進隊（地域運営組織）と協力しておこないました。

(4) 政府などへの提言活動

サードセクター組織の力量拡大のために、中小企業に対するものづくり補助金を非営利組織も活用できるように提言しました。具体的にはその補助金を活用できそうなサードセクター組織の具体的な事例を示し、その必要性、効果などを提言しました。またソーシャルビジネスネットワーク会議などで、事業型

NPO への支援の重要性、支援の在り方などを提言しました。

※サードセクターとは

企業・行政と並ぶ三番目のセクターとして存在感を示す必要があることを意図した表現です。具体的には、社団法人・財団法人（一般、公益）、社会福祉法人、学校法人、医療法人、宗教法人、厚生保護法人、協同組合、社会的企業、特定非営利活動法人、市民活動団体、地縁組織等を含めた、社会的課題を解決する広範な組織群を示しています。

Ⅲ 組織の運営に係る事項

1. 社員総会の開催

日時：2018年11月28日（日）17:00～18:00

場所：パシオン TOKYO （東京都大田区大森北二丁目3番15号）

出席者：会員7名

定足数20名（正会員39名）に対し、出席者7名、議決権行使書6名、委任状19名、合計33名であるため、総会の成立を確認した。

決議事項：第9期事業報告（案）の承認の件、第9期決算報告（案）の承認の件、定款変更について承認された。

2. 理事会の開催

（1）第1回理事会

日時：2018年11月12日（月）19:00～20:00

場所：パシオン TOKYO （東京都大田区大森北二丁目3番15号）

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、監事1名、欠席1名

報告事項：代表理事、執行理事より活動報告がなされた

決議事項：会員入会について承認された。

法人10期通常総会議案について承認された。

法人9期事業報告について承認された。

法人9期決算書について承認された。

定款変更について承認された。

(2) 第2回理事会

日時：2018年11月28日(水) 18:00～19:00

場所：パシオン TOKYO (東京都大田区大森北二丁目3番15号)

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名

報告事業：代表理事、執行理事より活動報告がなされた。

決議事項：代表理事を選出した。

会員入会について承認された。

当協会の従たる事務所を下記のとおり設置したい旨を諮ったところ、満場一致で承認可決した

愛知県名古屋市北区平安1丁目9番22号

(3) 第3回理事会

日時：2019年2月15日(金) 17:00～18:00

場所：パシオン TOKYO (東京都大田区大森北二丁目3番15号)

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名

報告事項：代表理事、執行理事より活動報告がなされた

決議事項：会員入会について承認された。

指定寄付について協議し、次回理事会にて詳細を検討することとした。

(4) 第4回理事会

日時：2019年4月25日(木) 18:00～19:30

場所：パシオン TOKYO (東京都大田区大森北二丁目3番15号)

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名

報告事業：代表理事、執行理事より活動報告がなされた

決議事項：会員入会について承認された。

寄付金規定について再検討を行い、現状の規定にて運用することとした。

新規事業申請について協議され、申請をしていくこととした。

5) 第5回理事会

日時：2019年7月8日(木) 18:00～19:30

場所：パシオン TOKYO (東京都大田区大森北二丁目3番15号)

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、欠席1名

報告事業：代表理事、執行理事より活動報告がなされた

決議事項：会員入会について承認された。

倫理規定、コンプライアンス規定、利益相反防止規定、内部通知者保護規定、リスク管理規定、情報公開規定、事務局規定、文書管理規定については継続審議とした。

新規事業については申請をすることとした。

特別寄付について寄付申込書の様式を定めた。

次期役員について検討を行い、担当理事が意向の確認をすることとした。

6) 第6回理事会

日時：2019年8月26日（月）18:00～19:30

場所：パシオン TOKYO（東京都大田区大森北二丁目3番15号）

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席理事7名、監事1名

報告事業：代表理事、執行理事より活動報告がなされた

決議事項：

法人11期事業計画について承認された。

法人11期予算について承認された。

資金調達・設備投資の見込みについて承認された。

倫理規定、コンプライアンス規定、利益相反防止規定、内部通知者保護規定、リスク管理規定、情報公開規定、事務局規定、文書管理規定についてはそれぞれ原案どおり承認された

協議事項：次期役員候補者を選出した。担当理事が意向の再確認をすることとした。

第10期事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年11月

公益社団法人日本サードセクター経営者協会